

あみだじ 阿弥陀寺 だより

2014年7月1日 第21号

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

〒861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

TEL (096) 289-0424 FAX (096) 297-9161

E-mail amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

ホームページ [金剛山阿弥陀寺](#) 検索

郵便振替: 01710-8-68921 加入者名: 阿弥陀寺事務所



仏前結婚式 (柄原真人 由美)

「あしひきの山の木末
のほよ取りて かざしつ
らくは 千年寿くとそ」
「ほよ」とは、宿り木。
木枯らしの季節、木が葉
を落としても青々として
いるすがたは、力ある生
命の木として尊ばれてき
た。それを髪に挿すこと
で、力を我が身に取り入
れようとした祝い歌。

5月10日、仏前結婚式
が執り行われた。親族、
友人、お寺にご縁のある
方々が夫婦の門出を祝福
した。尊前で二人が合掌
するすがたは、力強い生
命の宿り木が、添えられ
たように映つた。

仏前儀式は僧侶である
から然るべきではない。
何をして生きしていく意
義を見出せない私が、立
ち上がることができた場
がお寺であつたからだ。
そして、寺を囲む木々の
ように、あの時の人、
あの言葉が、私に手を差

寿ぐ (ことほぐ)

大谷 義文

し伸び続けていたおかげ
で歩みだせた。だから、
仏前で身上を報告し、誓
うことは至極当然である。
「赤縄足をつなぐ」と
いう故事がある。不思議
な老人が持つていた袋に
は、赤い縄が入っていた。
何かと若者が問う。それ
は、夫婦となるものの足
をこれでつなげば仇敵同
士でも、遠くの人間でも
結ばれるという縄であつ
た。これは、幾たびの苦
を、忘れていた恩を刻ん
だいのちの記憶ではない
か。仏前では、宿り木や
赤縄を、念珠(お数珠)
に代えて授与される。

「私たち、赤い糸で結ば
れていたのね」といつた
甘い言葉で出会つたので
はない。誰かが何処かで、
常に赤い縄で結んでくだ
さっている、それが寿ぐ
である。故に尊前の合掌
は、無量なる寿に生きて
いることを報らされる。

佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

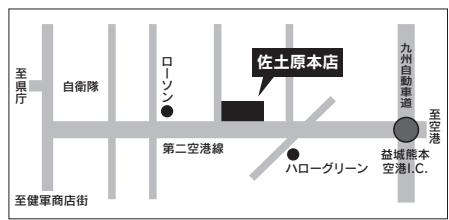
営業
時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

